



兵庫県播磨町

本町のデータ

(1)面積 9.13km² (H27.10.1)

(2)人口 (人)

22国調	27国調	R1.9.30住基
33,183	33,739	34,596
65歳以上人口比率(27国調)		25%

(3)世帯数

22国調	27国調	R1.9.30住基
12,581	13,258	14,989

(4)沿革

S37. 4. 1 町制施行

(5)産業構造

区分	就業人口 22国調	就業人口 22国調
1次	83人 0.5%	91人 0.6%
2次	4,938人 32.8%	5,029人 33.0%
3次	9,563人 63.7%	9,809人 64.3%
分類 不能	450人 3.0%	322人 2.1%
計	15,034人	15,251人

本町の概要

播磨町は、兵庫県南部の中央に位置し、南は瀬戸内海、東は明石市、西と北は加古川市に隣接しています。面積は、9.13km²と県下で最も小さな町であり、海を埋め立てて造られた工業専用地の人工島が町全体の約3割を占めています。

また、播磨町は、大中遺跡に代表されるように古代にさかのぼる古い歴史のあるまちです。江戸時代に、干ばつに苦しむ地域を救うため、約14kmの新井用水路を開削した今里伝兵衛や、日本人ではじめてアメリカ大統領に謁見し、後に日本で最初の新聞「海外新聞」を発刊して、新聞の父と呼ばれるジョセフ・ヒコの生誕地でもあります。



大中遺跡



ジョセフ彦

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成23年度から、役所内部で「庁内自殺予防対策連絡会」を設け、自殺対策に取り組んできました。平成30年度に、どこに相談したらいいかわからない複雑な悩みごと、困りごとに対応するための「総合相談窓口」を設置するとともに、庁内14グループから構成される「自殺対策部会」を組織しました。昨年度からは、この「自殺対策部会」が中心となり、庁内の様々な部署が連携しながら、全庁的に自殺対策に取り組んでいます。

(1) 庁内関係機関の連携推進

平成23年度～庁内自殺予防対策連絡会(庁内8グループ)

平成30年度～自殺対策防止部会(庁内14グループ)

毎年度会議を開催し、自殺予防に関する普及啓発活動を検討・実施。

(2) 相談窓口の設置

平成30年度～総合相談窓口の設置

(3) 自殺予防啓発グッズの作成、配布

平成23年度～相談連絡先の記載のあるグッズを小中学生等に配布。

平成29、30年度 ボールペン

令和元年度 蛍光ペン

(4) 相談窓口の周知

令和元年度 相談窓口を掲載したパンフレットを作成。

(5) 自殺予防講演会の実施

町職員、教職員、民生委員児童委員、一般住民を対象に講演会を実施。

平成29年度 「若者自殺をどう防ぐか～いま私たちにできること～」

講師:清水康之氏(NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表)

平成30年度 「何気ない日常を重ねる その先に希望はある」

講師:渡部達也氏、渡部美樹氏(NPO法人ゆめ・まち・ねっと)

令和元年度 「若者の自殺をどう防ぐか～若者の自殺の現実と対策の課題～」

講師:清水康之氏(NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表)

トークセッション「自分自身にできること」

出演者:清水康之氏、播磨町長、養護教諭、民生委員児童委員